

第13回 ふくしまけん街道交流会 in 二本松

「奥州街道・菊かいほる油井から二本松城下を歩く」



大日本国東山道陸奥州驛路圖・南杉田宿から八丁目宿(複製)(青森県立図書館蔵)。

参勤交代で奥州街道を南下する仙台藩主は、二本松城下の北の入口にさしかかると、鉄砲組の火縄銃に点火させ、二本松城の本丸方向に向けたという。天正13(1585)年、伊達氏と争っていた二本松城主・畠山義継が、政宗の父・輝宗を人質にとり和睦に持ち込もうとしたが、政宗は父を犠牲にして畠山氏を滅ぼした。藩祖・政宗の恨みを忘れずに、代々の仙台藩主が・・・というわけである。江戸時代になってから二本松城に入った丹羽氏にしてみれば、全く筋違いの嫌がらせに他ならない。そこで丹羽氏は城下北側から見て本丸方向にあたる「竹田町」や「亀谷坂」に、なんと徳川將軍の廟所を見立ててセットしたというのだった。亀谷坂の途中にある鏡石寺もそのために別の場所から移築したもので、鉄の紋を付けて上野の寛永寺になぞらえたとか。この妙策で仙台藩の嫌がらせはバタリと止まり、逆に通行する諸大名が拜礼するようになったという。鏡石寺の東照大権現に見立てた木像は何度かの火災の難を逃れ、現在も葵の紋の付いた祠に納められているという。

第13回交流会は、このようなエピソードが残る二本松を歩いて探訪いたします。

開催日時 平成26年11月1日(土) 8:00受付 8:30開会

集合場所 アーバンホテル二本松(JR二本松駅前)

駐車場 二本松市民交流センター駐車場(駐車料金は個人負担)

内容 8:40～9:30 基調講演 『奥州街道と二本松藩』

講師 ふくしまけん街道交流会地域世話人 高橋正弘氏

9:51 JR二本松駅乗車 ～ 9:57 JR安達駅下車 ～ 奥州街道探訪(徒歩約6km)

12:30 解散(二本松市民交流センター) ※探訪コースは別紙参照

※なお、当日は第60回『二本松の菊人形』が開催中です。(午後4時までです。)

案内人 高橋正弘氏、大内文男氏(両氏とも当会地域世話人)

会費 1,000円(当日徴収、資料代・傷害保険・電車代含む、昼食は各自対応願います)

申込先 事務局・渋谷へFAX(024-582-6443)にて10/21(火)までお願いいたします。

後援 福島県、とうほく街道会議、羽州街道交流会、みやぎ街道交流会

参加します。氏名 _____ 連絡先 _____

